要求条件、

要求条件ヲ提出シ職工代表トシテ松見利貞、神田文顯
両名ハ社長島太郎ニ面会シ交渉シタルモ却下拒絶セラレ
タリ右両名ハ工場ヲ引返シ同ニ報告シ直ニ罷業ニ始リ
工場ニ於テ喧噪ヲ極メタリ右両名ハ常ニ他職工ヲ煽動スル
形跡アルヲ以テ二十二日出勤ト同時ニ解雇シタリ、

一、神田、松見、両氏ノ復職
二、現賃金ノ五割値上ゲ
三、解雇手当ノ制定
勤続三ヶ月以内ハ月給一ヶ月分、全一ヶ年以内全三ヶ月分
全一年以上三ヶ月ニ対シ三日分
四、退職手当ノ制定 解雇手当ト同額
五、罷業中ノ日給支払
六、浴場ノ設置
七、脱衣場ノ設置

資本家ノ態度

資本家側ハ二名ノ近中職工ノ中、僅カニ早熟者ノ罷業
者ナルガ故ニ在社若者トセズ特ニ警察ノ援助ニ対シテ
資本家側ハ同情ヲ有スルモノトシテ強固ナル態度ヲ持セリ、
然レナガラ結局罷工ハ二三名ノ煽動ニ由テ発生シタルモノナ
ルガ故ニ解決ノ際ハ従前ノ如ク復職セシムル模様ナリ、

職工ノ態度

職工ハ資本家ノ懐柔策ニ乗セズ激昂シテ幹部ノ命令ニ同
労働組合及ビ総同盟ノ援助ヲ得テ徹底的ニ要
求条件ノ貫徹ニ努力シツヽアリ

[illegible]

備考

大正十三年六月二十六日提出

平川

安郷

財團法人 協調會
法人 協調會